

日本マスターズ水泳選手権大会（ジャパンマスターズ） プレ大会

アーティスティックスイミング（AS）競技 開催要項

主 催	一般社団法人日本マスターズ水泳協会
主 管	一般社団法人日本マスターズ水泳協会
協 力 (予定)	公益財団法人日本水泳連盟 AS 委員会 一般社団法人神奈川県水泳連盟 日本水泳ドクター会議・日本水泳トレーナー会議 公益財団法人日本ライフセービング協会
特別協賛	デザートジャパン株式会社
協 賛	日本水産株式会社、株式会社サンワ
日 時	2019年7月6日（土） ※ 開始予定 12:30～
会 場	横浜国際プール サブプール（25m×20m 水深 2.5m） 〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田 7-3-1

1. 参加資格

- (1) 競技会申し込み時までに（一社）日本マスターズ水泳協会（本協会）の2019年チームおよび競技者登録を完了した女子であること。ただし、本競技会はプレ大会のため、未登録者の出場も認める。
- (2) 年齢は、高校生を除く18歳以上とする。
- (3) マスターズ水泳のモットーを理解した健康な方で、定期的な練習を实践し、自らの責任において本要項の記載内容を了解していること。

2. 競技方法

- (1) 本競技会は（一社）日本マスターズ水泳協会アーティスティックスイミング競技規則に則り、一部本競技会規則を適用し実施する。
- (2) 競技種目
デュエット・チームは、テクニカルルーティン+フリールーティン 200点満点で実施する。
フリーコンビネーションは、フリールーティン 100点満点とする。
- (3) 選曲、演技内容、構成に制限はない。
- (4) 制限時間は10秒の陸上動作を含め、15秒までの延長が認められる。
- (5) 出場順は、テクニカルルーティン、フリールーティンともに種目別、各年齢区分別で、事前に事務局において抽選する。出場順は、2次要項で発表する。
- (6) 制限時間

	TR	FR
デュエット	1分40秒	3分
チ ャーム	1分50秒	4分
フリーコンビネーション		4分

3. 年齢区分

年齢は暦年齢（2019年12月31日現在の年齢）とし、年齢区分は出場競技者の平均年齢とする。
※ 平均年齢は、実際に泳いだ選手の年齢を足し、泳いだ選手の人数で割る（補欠選手は除く）。
小数点以下はすべて切り捨てる。
例）チームの平均年齢が49.833歳だった場合、このチームは35～49歳区分となる。

- ① デュエット種目
18～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70～79歳、80～89歳
※ 以降同様に10歳ごと
- ② チーム種目
18～34歳、35～49歳、50～64歳、65～79歳
※ 以降同様に15歳ごと
- ③ フリーコンビネーション種目
18～34歳、35～49歳、50～64歳、65～79歳
※ 以降同様に15歳ごと

4. 構成人数

- (1) チームは4～8名、フリーコンビネーションは4～10名の構成とする。
- (2) デュエットには補欠を1名、チーム、フリーコンビネーションには補欠を2名まで登録できる。
- (3) 補欠が出場した場合も年齢区分の変更は認めない。

5. 健康管理条件

- (1) 自己の責任の下に健康管理を行い、競技会運営に支障をきたさないこと。
- (2) チーム代表者は参加者について次のことを確かめること。
 - ① 医師の健康診断または本人の自己申告に基づいて健康に異常がないこと。
 - ② 競技会当日より前1ヶ月間、週1回以上の水泳練習を行うこと。
 - ③ 会場における事故等については、すべて参加者側において処置すること。
- (3) 競技会期間中、大会医務委員により出場停止を勧告された場合は、その指示に従うこと。

6. 表彰

- (1) 参加者全員に参加賞を授与する。
- (2) 年齢区分別に、各種目上位3位までの選手、チームへ補欠を含め賞状を授与する。

7. 申し込み

- (1) 注意事項
 - ① 申し込みにあたり本要項を熟読し了承すること。
 - ② 申込内容に不備のある場合は受け付けできないので注意すること。
 - ③ 申し込み受け付け後の種目変更、キャンセルおよび申込料の返金はできない。
- (2) 申込料（税込み価格）

デュエット	1人	4,000円
チーム	1人	3,000円
フリーコンビネーション	1人	3,000円

 - ※ スタートリスト・リザルトは、大会当日各チームへ配布する。

- (3) 申込方法
- ① 本協会ホームページより、申し込みファイルをダウンロードし、必要事項を入力。
『10. 申し込み・問い合わせ』に記載のメールアドレスまで送信のこと。
※ 件名を『ジャパンマスターズプレ大会 AS 申し込み』とすること。
 - ② 申込料は後日送付されるコンビニエンスストア払込票（別途手数料 324 円がかかる）に従い、指定の期日までに支払うこと。なお、払込期限切れに伴う再請求には回数に応じた手数料を乗じて請求するので注意のこと。
 - ③ 申し込みメール送信後、本協会からの返信をもって申し込み受け付けとする。
- (4) 申込締切
- 2019年6月7日（金）正午（12：00）**
- ※ 申込多数の場合は、締切日前でも締め切る場合があるので注意のこと。
 - ※ 7日（金）12時までにメールが着信していること。

8. 個人情報ならびに肖像の取り扱いについて

本競技会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては以下のとおりとする。

- (1) 個人情報
 - ・ プログラム、結果作成を含む競技会運営に使用する。
 - ・ 競技結果としてホームページ等の媒体に掲載する。
- (2) 肖像
 - ・ 競技会報告としてホームページ等の媒体に使用する。
 - ・ マスターズ水泳の普及活動のために今後の各種媒体に使用する。
 - ・ 競技会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は本協会に帰属する。

9. 備考

- (1) 2次要項
競技会 10 日～2 週間前に 2 次要項（当日のスケジュール、連絡事項等を記したものを）を本協会ホームページに公開するので、各自内容を確認のうえ、競技会へ出場すること。
- (2) ID カードについて
 - ① 本競技会では ID カードを使用する。競技会当日受付時にチームにまとめて引き渡しを行う。
 - ② 緊急時の連絡先は、競技会当日に出場者に異常が生じた場合に連絡できる先を記入すること。
 - ③ メインプールでは『第 1 回日本マスターズ水泳チーム対抗競技大会』開催のため、会場内では必ず ID カードを携帯し、競技役員等に提示を求められた場合は従うこと。
- (3) 不可抗力による中止の際の対応
社会情勢ならびに天変地異等の不可抗力により中止になった場合は一切の返金は行わない。なお「参加賞」は授与する。
- (4) 私的営利活動の禁止
競技会会場内で主催者の許可なく営利活動や販促物等の配布、集客活動などを行うことは禁止する。
- (5) 会場内での撮影について
本競技会において、参加選手または関係者が私的に撮影した動画や画像を YouTube 等の WEB サイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けること。また、会場内 BGM をそのまま使用すると著作権の侵害となるので注意のこと。撮影許可は、会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではない。

10. 申し込み・問い合わせ

<競技規則・運営に関する問い合わせ>

(一社) 日本マスターズ水泳協会 AS 委員会 E-mail : japanmasters-as@masters-swim.or.jp

※ AS 委員会の委員が回答するためメールのみでの問い合わせとする。

※ チーム名・氏名を必ず入力のこと。

<事務手続きに関する問い合わせ先>

(一社) 日本マスターズ水泳協会事務局 E-mail : japanmasters-as@masters-swim.or.jp

公式ホームページ <http://www.masters-swim.or.jp/>

※ 競技会についての詳細や追加の案内は、決定次第順次ホームページに公開する。

11. 会場案内

「横浜国際プール サブプール」 〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田 7-3-1

<交通機関>

- ・横浜市営地下鉄グリーンライン「北山田駅」より徒歩約 10 分
- ・横浜市営地下鉄ブルーライン「センター北駅」よりバス約 10 分、「国際プール正門前」下車
- ・東急田園都市線「鷺沼駅」よりバス約 15 分、「稲荷坂」または「北山田駅」下車



日本マスターズ水泳選手権大会（ジャパンマスターズ）プレ大会 アーティスティックスイミング（AS）競技

テクニカルルーティン規定要素について

本大会のテクニカルルーティン規定要素については、FINA マスターズテクニカルルーティン規定要素 2017-2021 に基づき、本大会に限り、以下の通りとする。

一般規定

下記要素以外に自由要素を追加してもよい。

1. 規定要素の説明で特に指示がない限り：
 - ・すべてのフィギュアまたはその部分は、下表に説明されている通りに行うこと。
 - ・すべての規定要素は、高く、よくコントロールされ、かつユニフォームモーションで行われ、各部が明確であること。
2. 制限時間は、要項に記載の通り。
3. 選手は黒い水着に白いキャップを着用すること。

デュエット規定要素

規定要素 1 から 5 はリストされた順に実施する。

規定要素 6、7 はルーティン中にいつでも実施してもよい。

1. **フィッシュテイル姿勢**：下向き水平姿勢から**フロントパイク姿勢**になる。片方の脚をフィッシュテイル姿勢の位置に、もう一方の脚は垂直にのぼす。（終わり方は任意。）
2. **スプリット姿勢**：スプリット姿勢から**ウォークアウトフロント**又は**ウォークアウトバック**を行う。
3. **スピン 180°**：**ベントニー垂直姿勢**から、両脚を揃えて**垂直姿勢**になりながら足首の位置まで**180° スピン**を行う。**垂直沈み込み**を行う。
4. **バレレッグコンビネーションによる移動**：上向き水平姿勢から始め、次に掲げる中から 2 種類の姿勢を行う。**右脚ベントニー上向き水平姿勢**、**左脚ベントニー上向き水平姿勢**、**左脚バレレッグ姿勢**、**右脚バレレッグ姿勢**、**左脚フラミンゴ姿勢**、**右脚フラミンゴ姿勢**、**ダブルバレレッグ姿勢**。
5. **バラクダベントニー**：両脚が水面に垂直でつま先が水面直下にある**水中バックパイク姿勢**から、片方の脚をもう一方の脚の内側に沿わせながら**スラスト**を行ない、**垂直ベントニー姿勢**になる。**スラスト**と同じテンポで**垂直沈み込み**を行う。
6. **2種類の推進動作**：前進、横移動のいずれかもしくは両方の立ち泳ぎを入れなければならない。
7. **コネクティッド動作**：次に掲げる条件に従い、二人が触れているもしくは接触している状態で動作を行う。
 - ・二人が触れている状態でのフィギュア、フロート、あるいは泳ぎ。
 - ・動作は二人同時に行わなければならない。ミラーアクションは認められる。
 - ・スタック、リフト、プラットホーム、スローをしてはいけない。

陸上動作、入水、コネクティッド動作で述べられている場合を除いて、全ての規定要素も自由要素も、二人が同じ方向を向き、同時に行わなければならない。水中パターン変化の際には推進動作と進行方向の差異は認められる。

チーム規定要素

規定要素1から5はリストされた順に実施する。

規定要素6、7、8、9はルーティン中にいつでも実施してよい。

1. フィッシュテイル**姿勢**: 下向き**水平姿勢**から**フロントパイク姿勢**になる。片方の脚をフィッシュテイル**姿勢**の位置に、もう一方の脚は垂直にのぼす。(終わり方は任意。)
2. スプリット**姿勢**: スプリット**姿勢**からウォークアウトフロント又はウォークアウトバックを行う。
3. スピン **180°** : ベントニー**垂直姿勢**から、両脚を揃えて**垂直姿勢**になりながら足首の位置まで**180°** スピンを行う。**垂直沈み込み**を行う。
4. バレーレッグコンビネーションによる移動: 上向き**水平姿勢**から始め、次に掲げるなかから2種類の**姿勢**を行う。右脚ベントニー上向き**水平姿勢**、左脚ベントニー上向き**水平姿勢**、左脚バレーレッグ**姿勢**、右脚バレーレッグ**姿勢**、左脚フラミンゴ**姿勢**、右脚フラミンゴ**姿勢**、ダブルバレーレッグ**姿勢**。
5. バラクダベントニー: 両脚が水面に垂直でつま先が水面直下にある**水中バックパイク姿勢**から、片方の脚をもう一方の脚の内側に沿わせながら**スラスト**を行ない、**垂直ベントニー姿勢**になる。**スラスト**と同じテンポで**垂直沈み込み**を行う。
6. 2種類の推進動作: 前進、横移動のいずれかもしくは両方の立ち泳ぎを入れなければならない。
7. コネクティッド動作: 次に掲げる条件に従い、チームメンバー全員が触れているもしくは接触している状態で動作を行う。
 - ・ チームメンバー全員が触れている状態でのフィギュア、フロート、あるいは泳ぎ。
 - ・ 動作は二人同時に行わなければならない。ミラーアクションは認められる。
 - ・ スタック、リフト、プラットホーム、スローをしてはいけない。
8. カデンス動作: すべてのチームメンバーが同一の動きを一人ずつ連続的に行う。複数のカデンス動作が行われる場合、それらは連続していて、他の動作や規定要素で切り離されてはいけない。最初のカデンス動作をチームメンバー全員が完了する前に、二つ目のカデンス動作を開始してもよい。ただし、各チームメンバーはそれぞれのカデンス動作を行わなければならない。
9. パターン: 少なくとも1つの円と1つの直線をルーティン中に含まなければならない。円あるいは直線のパターン中に規定要素を行ってもよい。
 - ※ ただし、円で円方向もしくは円の中心に向かって規定要素 1,2,3,4,5 を行った場合は、同じ方向を向いていると認められない。

陸上動作、入水、カデンス、そしてコネクティッド動作で記述されている場合を除き、すべての要素は規定、自由要素を問わず、すべてのチームメンバーが同じ方向を向いて同時に行わなければならない。円の場合は泳者が同じ方向を向く必要はない。水中パターン変化の際には、推進動作と進行方向の差異は認められる。規定要素の説明で述べられている場合を除き、ミラーアクションは認められない。

第36回日本マスターズ水泳選手権大会（ジャパンマスターズ2019）
アーティスティックスイミング競技（プレ大会）

採点方法及び結果の算出について

本大会の採点方法及び結果の算出については、本大会に限り、以下の通りとする。

1. 採点方法

（公財）日本水泳連盟発行『アーティスティックスイミング競技規則（2018）』

AS16、17に準じ、ジャッジ5名の3パネルを編成する。

フリールーティン	パネル1	エクスキューション
	パネル2	アーティスティックインプレッション
	パネル3	ディフィカルティ
テクニカルルーティン	パネル1	エクスキューション
	パネル2	インプレッション
	パネル3	エレメンツ

2. ペナルティ

（公財）日本水泳連盟発行『アーティスティックスイミング競技規則（2018）』

AS18に準じ、減点及び失格を決定する。

3. 結果の算出

（公財）日本水泳連盟発行『アーティスティックスイミング競技規則（2018）』

AS19に準じ、算出する。

ただし、テクニカルルーティンにおける規定要素の難易率は全て【1.0】とする。

4. 最終結果

（公財）日本水泳連盟発行『アーティスティックスイミング競技規則（2018）』

AS20.2.1、AS20.2.2、AS20.3に基づき決定する。

全ての採点方法及び結果は、（公財）日本水泳連盟発行『アーティスティックスイミング競技規則（2018）』に準じて決定される。これに該当しない事案及び事象については、レフリー及び主催者との協議において裁定されることとする。

以上